

υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου

ヒュイオス トウ アンスローポー

知っておきたいキリスト教のことば (174)

人の子 ひとのこ

わたしだって「人の子」よ。そんなことできないわ。日常会話の中でこのように言う場合は、自分も人間だという意味になります。

「人の子」という言葉は、旧約聖書においてはわたしたちのイメージと同じように、「人間」を意味することが多いようです。たとえばエゼキエル書においては、預言者自身が人間の弱さや人間の力の限界を語るときに、「人間に過ぎない」という意味で「人の子」という言葉を用いています。

しかし同じ旧約聖書の中でも黙示的な文書であるダニエル書では、「人の子」という言葉を審判者やメシアという意味で用いているようです。

一方福音書に出てくる「人の子」は、ほとんどの場合イエス様がご自分のことを指して用いられています。

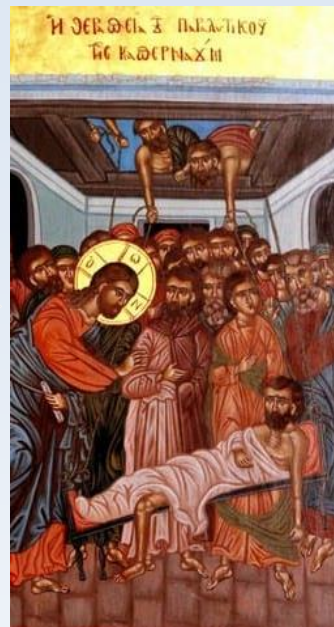
それによると、「人の子」は地上で権威を持って活動しますが、受難予告にあるように苦しみを受け、三日目に復活します。そして将来、審判者として再臨するということです。

ではイエス様はどうして、ご自分のことを「人の子」と呼んだのでしょうか。一つの理由としては当時、救い主を意味する「メシア」という称号が使いにくかったからだと思います。

ユダヤの人たちはローマを滅ぼし、ユダヤ人の王国を建てるような「政治的メシア」の到来を待ち望んでいました。そのためイエス様が、「わたしはメシアである」と言えば、力で支配するような誤解を生んだかもしれないのです。

イエス様はメシアであり、苦難の僕でもあります。それらの称号が結合された「人の子」として、わたしたちを導かれるのです。

次回は「ファリサイ派」です。楽しみに。



「カファルナウムで中風の人を癒すイエス」
イコン画

人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」そして、中風の人に言われた。

(マルコによる福音書 2 章 10 節)

